



●オニカサゴの釣りは川奈～富戸沖の水深160メートル前後



▲断続的に引き込めば本命の可能性大

★当日最大1.7キロ



▼アカムツの釣りは熱海沖の水深270メートル前後。海岸線からの距離はわずか2キロ



◀この方は午前、午後船と乗り継ぎともに本命獲得



▼定番エサのホタルイカは予約時に注文しておくで別料金で用意してくれる



◀午前船はクロムツも上がった
▼当日のアカムツは30センチ弱にとどまったが、40センチ級も顔を出す

▼エサはサバの切り身が支給される
▶オニカサゴは1キロ級がアベレージ



東伊豆は急深な海底地形を擁し、大陸棚縁辺の水深200メートルラインが驚くほど海岸線から近いいため、昔から中深海や深海釣りが盛んなエリアだ。
宇佐美港の直正丸は、アカムツ、オニカサゴ、アラ、ベニアコウなどを周年の看板に掲げ、午前・午後の2便制で出船する。
2月下旬の取材日は午前船アカムツ、午後船オニカサゴという中深海の人気魚のダブルヘッダー。午前は潮が動かず本命は小型1尾にとどまったが、転じて潮が効いた午後は食いが立ち、最大1.7キロのジャンボオニカサゴを筆頭に1キロ級が次つぎに浮上。東伊豆のポテンシャルの高さを見せつけた。
(詳細は58ページ参照)

東伊豆宇佐美港出船 午前アカムツ、午後オニカサゴ 東伊豆で人気根魚のダブルヘッダー

撮影●訓覇啓雄

赤鯮、鬼笠子



●東伊豆宇佐美港・直正丸 島田 正則船長